



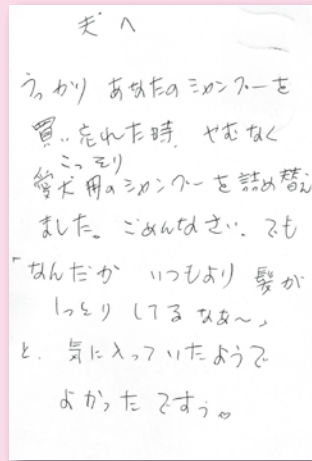
J Rごめん駅長賞  
小沢 竹朗（愛知県）



ごめん町賞  
吉松 慎子（高知市）



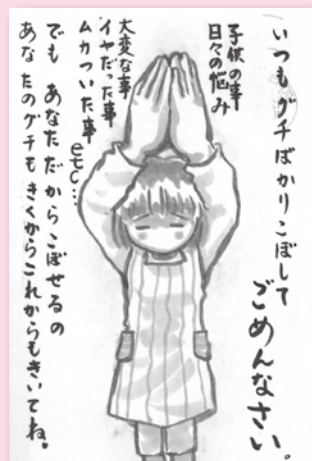
フタガミ賞  
岩田 幸作（福岡県）



南国市金融団賞  
なおぶー（愛媛県）



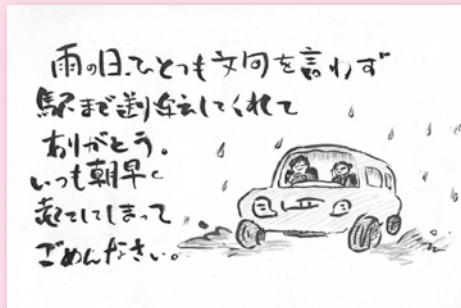
南国市商工会長賞  
小田 高博（三重県）



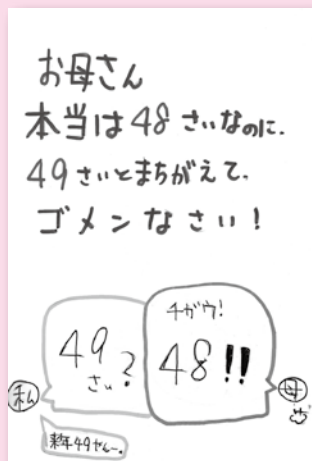
サニーマート賞  
増田 木綿子（三重県）



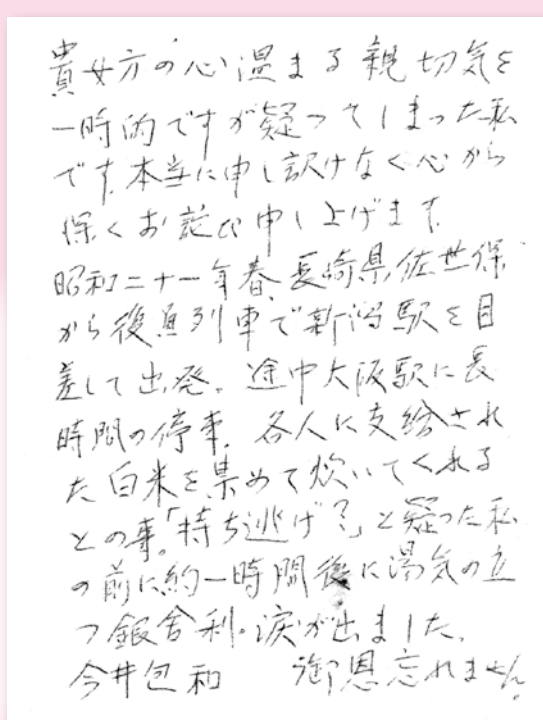
T S U T A Y A 賞  
小島 江里奈（高知市）



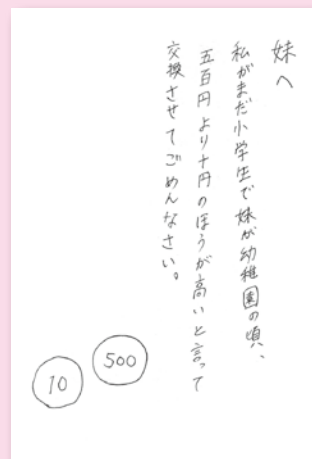
南国郵便局長賞  
四宮 柚（いの町）



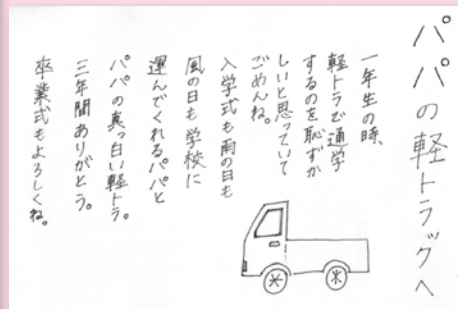
ナンコクスーパー賞  
岡田 美依菜（高知市）



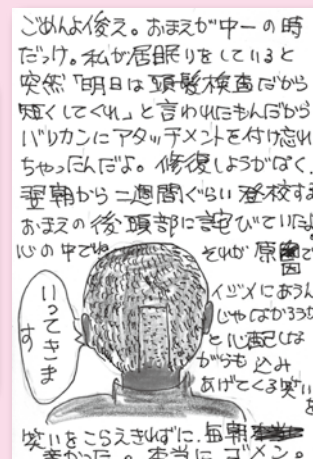
大賞(南国市市長賞) 今井 包和（新潟県）



優秀賞(南国市副市長賞)  
森岡 星（香南市）



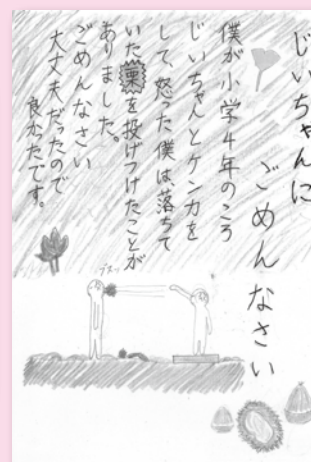
優秀賞(南国市副市長賞)  
岡林 侑（高知市）



優秀賞(南国市副市長賞)  
平松 みち子（愛知県）



優秀賞(南国市教育長賞)  
山崎 薫（高知市）



優秀賞(南国市教育長賞)  
興梠 亮（宮崎県）



優秀賞(南国市教育長賞)  
小川 珠奈（鹿児島県）

# 第12回ハガキでごめんなさい

## 全国コンクール入賞作品紹介

応募総数  
1,083通

言いそびれたごめんなさいを1枚のハガキに  
今年で12回目となった「ハガキでごめんなさい全国コンクール」。今年は本県を含む43都道府県と、幅広い地域から、昨年より179通多い1083通の心温まる「ごめんなさい」が寄せられました。  
応募作品の中から、審査で選ばれた各賞の作品を紹介します。

### 総評

ハガキでごめんなさい

実行委員会

12回目の開催となった今回は、応募総数、応募地域とも前回を上回り、全国的に取り組みに賛同いただくことができました。  
今回も秀作が多く寄せられ、審査員が頭を悩ませながらの審査となりました。  
今回の大賞は過去最高齢となる98才の方の作品で、敗戦直後の復員列車での体験をつづったもので、戦後の冷めきった世情の中での心温まるエピソードとして、審査員も納得の大賞となりました。  
他の入賞作品もいずれ劣らぬ力作ばかりで、くすつと笑いを誘う作品や、心温まる作品など、作者の心からの「ごめんなさい」が詰まったものばかりでした。